

別添(別記様式第1号)実施要領第1の2(1)の②関係

令和4年度 有機農業推進総合対策緊急事業実施計画書

第1 事業の概要  
1 事業実施体制の概要  
(1)事業実施主体の概要

事業実施 主体名		〇〇協議会		(フリガナ) 代表者氏名		ユウキ タロウ 有機 太郎	
事業実施主体事務局が所在する住所				〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3 ABCビル 1F			
事業 者 連 絡 先	事業 担当者	役職・氏名	有機 太郎				
		電話番号	000-0000-0000		メールアドレス	abcdef@xxxxx.co.jp	
	経理 担当者	役職・氏名	会計 次郎				
		電話番号	000-0000-0000		メールアドレス	xyz@aaaa.co.jp	

(2) 事業実施主体以外の関係者・関係団体 ※協議会に関係する方全員記載ください。枠が足りない場合は行を追加してください。

関係 者	所属・役職・団体名	氏名(団体の場合 は代表者氏名)	役割	所属・役職・団体名	氏名(団体の場合 は代表者氏名)	役割
	学校給食センター	〇〇 〇〇	メニューコスト調整	〇〇〇ファーム	〇〇 〇〇	仕入れ
	〇〇市役所	〇〇 〇〇	納品の承認			
	NPO法人〇〇〇	〇〇 〇〇	メニュー開発			

注1: 事業実施主体以外の組織や者に一部業務を委託する場合等に記述すること。  
2: 役割の欄には、事業実施主体との関係が分かるように記入すること。

## 第2 事業の実施方針

### 1 事業実施における課題

学校給食に有機農産物を導入するには、学校の方・現場の栄養士の方々の理解が、まだまだ進んでいない。  
厳しい学校給食予算に対して有機農産物の導入する価格のハードルが高い。

注:事業実施における課題の欄には、本事業を実施する背景や解決に向けて取り組む課題を記入すること。

### 2 事業実施方針

まずは、学校や栄養士の方に有機農産物への理解・関心も持って頂き、メニューに取り入れても場合、工夫次第でコスト調整が可能なことを知って頂き、本格的導入を目指す。

注:事業実施方針の欄には、1の課題解決のため、どのような方針で本事業を実施するか具体的に記入すること。

## 第3 事業の内容

### 1 新たな市場への有機農産物等の試験的な導入に係る検討会の開催

#### (1) 検討会の概要

開催時期	参集範囲	検討内容
7 月	全員	仕入れる野菜の候補やテスト導入時期の検討
8 月	全員	学校・栄養士の方への有機勉強会及
9 月	全員	圃場視察
10 月	給食センター・〇〇 ファーム・NPO法人 〇〇〇	導入内容の事前すり合わせ
1 月	全員	調査結果の共有と今後の対応について

### 2 有機農産物等の試験導入

#### (1) 試験導入の概要

具体的な内容	<p>〇〇県の〇〇小学校の給食に有機米もしくは、有機の小松菜等の試験導入を検討している。</p> <p>導入のため、学校・栄養士の方に有機の理解を深めて頂くため勉強会を開催。また圃場の見学も実施。</p> <p>試験導入後には、学校・栄養士等に給食への有機農産物の導入について、今後の継続導入に向けた調査・ヒアリングを行う。</p>
--------	--

## (2) 試験導入する農産物の確認

<input checked="" type="checkbox"/>	取引する農産物は、有機JAS認証(転換期間を含む)を受けている農産物である。
<input type="checkbox"/>	取引する農産物は、環境保全型農業直接支払交付金の有機農業の取り組み対象となる農地で生産された農産物である。
<input checked="" type="checkbox"/>	取引する加工食品は、有機JAS認証を受けている加工食品である。

## (3) 試験導入する有機農産物等の品目詳細

導入時期	取引品目	取引量(kg)	取引価格(円/kg)	慣行価格(円/kg)	差額(円/kg)
11 月	有機米	10000kg	600円	200円	100円
11 月	有機小松菜	200kg	500円	380円	120円
月				↑↑↑↑↑↑↑↑↑ 差額の上限が慣行品の1.5倍以上の場合は、上限に合わせた価格を記載ください。	
月					
月					

## 3 有機農産物等の継続利用に向けた需要調査の取り組み

取り組み概要	<p>実際に給食への有機農産物の試験導入後に、実施した内容のコスト面・品質面での、調査を行う。</p> <p>得た回答から今後の継続導入に向け最適化を行う。</p>	調査対象及び範囲	学校・栄養士・市役所
		調査予定数	50名

## 4 有機農産物等の生産地の情報収集やマッチングに係る取り組み

取り組み概要	<p>導入を検討している、有機米と有機小松菜の生産者の圃場を協議会のメンバーで視察を行う</p>
--------	--

5 その他、有機農産物等の試験導入に必要な取り組み

取り組み概要	
--------	--

## 6 事業全体のスケジュール

実施時期	取組項目	本事業 の活用	事業の内容(取材先・取組についても具体的に記入)
7 月	導入時期の決定	○	実際に導入出来る時期を協議し決定する。
8 月	有機勉強会	○	学校・栄養士の方の有機に対する理解を深めて頂く。
9 月	圃場視察	○	仕入れ候補の有機農産物の圃場を視察。
11 月	有機野菜の給食提供	○	給食へ試験導入
12 月	調査実施	○	試験導入後のヒアリングの実施

注1:本事業の活用の欄は、取組のうち本事業を活用する場合には「○」を、本事業を活用しない取組には「×」を記入すること。

2:適宜、行を追加して記入すること。

2 事業完了予定(又は完了) 令和6 年 1 月 31 日

## 第4 今後の取組意向

以下の項目について、該当する項目の□にチェックを入れること。

<input checked="" type="checkbox"/>	今後も取り組みを継続する予定である。
<input type="checkbox"/>	今後の取り組みが可能であれば行いたい。
<input type="checkbox"/>	取り組みは今回のみ。

## 第5 添付資料

- (1) 事業実施主体の組織及び運営についての規約(定款)等写し、財務諸表(又は収支予算書、収支決算書等)
- (2) 事業の実施経費に係る見積書、謝金(又は賃金)の根拠資料
- (3) 本事業の一部を外部へ委託する場合は、その委託契約書(案)(又は写し)

【別紙】事業実施経費

(1)経費の配分及び負担区分

事業費 (円) ①=②+③+④	負担区分 (円)			総事業費に占める 国庫負担金の割合 ②/①	備考
	国庫負担金 ②	自己資金 ③	その他 ④		
1,980,000円	1,980,000			100%	

(2)事業費の内訳

事業内容	費目	細目	実施計画			実績報告	備考
			単価(円) ①	員数 ② (人数、回数等)	事業費 金額(円)(①×②)	事業費(円)	
試験的な導入 かかる費用	事業費	かかりまし差額(有機米)	100	10,000	1,000,000円		
	事業費	かかりまし差額(小松菜)	120	200	24,000円		
	事業費	送料	1,500	4	6,000円		週一回1ヶ月配送
	事業費	圃場視察交通費	10,000	5	50,000円		〇〇ファーム視察
	委託費	メニュー開発仕入れ	200,000	1	200,000円		
	委託費	メニュー設計支援	200,000	1	200,000円		〇〇調理師専門学校 〇〇氏依頼
	委託費	試験導入実施後調査	500,000	1	500,000円		株式会社〇〇リサーチに依頼
					0円		
					0円		
					0円		
					0円		
					0円		
					0円		
					0円		
					0円		
計					1,980,000円	0円	
総計					1,980,000円	0円	

注1:経費算定の根拠とした資料(見積書等の写し)を添付すること。

2:適宜、行を追加して記入すること。